

神戸産ヌメリイグチ属菌2種

ヒメヌメリイグチ

Suillus viscidipes Hongo (= *Boletellus viscidipes* (Hongo) Har. Takah.)



撮影年月日 2006年7月3日
採集環境 コナラ・カシ林樹下
採集場所 神戸市須磨区奥須磨公園



孢子

コメント

本種は傘の径が2~3cmと小型で、傘と柄に強い粘性があり、傘に外皮膜を有することが大きな特徴のイグチである。本種とアキノアシナガイグチとは肉眼的には区別が難しいが、孢子の形状が前者は平滑であるのに対して、後者は畝上の隆起を持つ点に置いて区別が可能である。高橋1992では、発生環境がブナ科樹下であることと、アキノアシナガイグチと酷似した肉眼的形態を重視して同属のキクバナイグチ属 *Boletellus* に置いている。発生は稀で、2006年以降発生を確認していない。標本は手元に残っていない。

参考文献

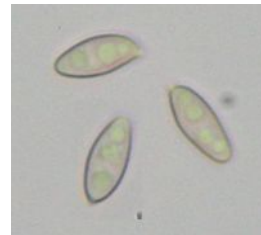
- 池田良幸. 2005. 北陸のきのこ図鑑 No. 719. 橋本確文堂.,
高橋春樹. 1992. 日本菌学会ニュース 1993-1(No.20):22.,
Hongo, T. 1974. Jour. Jap. Bot. 49:301.,

クロツブヌメリイグチ(日本きのこ図版 No.1374)

Suillus sp.



撮影年月日 2009年7月19日
採集環境 アカマツ・コナラ・カシ樹下
採集場所 神戸市北区再度公園



孢子

特徴

傘は径 1.0-1.6cm, 饅頭形のち平開し, 縁部には外皮膜の名残が付着する: 表面は変色性及び粘性はなく, 赤茶色~茶色で縁部では淡く, 細かくひび割れて鱗片状~綿毛状となり, 成長したものでは大きくひび割れ, ときにイボ状の鱗片となる. 柄は 1.5-2.0×0.2-0.3cm, 上下同径, 中心性~偏心性, 中実: 表面は淡肌色で強い粘性があり, 基部では淡黄色~オリーブ色で淡黄白色の菌糸が束生する. 肉は傘付近では淡黄色, 柄付近では淡ベージュ色~淡黄色, 基部では淡オリーブ色. 特別な匂い及び変色性はない. 孔口は 0.5-1 個/mm, 管孔・孔口ともに帯オリーブ黄色であるが, 孔口は幼時やや白色を帯びる. 孢子は類紡錘形, 平滑, 大きさ 9.5-12×4.5-5.0 μm.

コメント

小型で, 柄に粘性があり, 外皮膜を有する点に置いて肉眼的にはヒメヌメリイグチとよく似ている. しかし, 本種の傘には粘性がない点でヒメヌメリイグチとは区別できる. 青木 1985 に掲載されているクロツブヌメリイグチ *Suillus* sp. とは同一種であると思われる. 標本は自宅に保管してある.

参考文献

- 青木実. 1994. 日本きのこ図版 補足 No.1000. 日本きのこ同好会
青木実. 1985. 日本きのこ図版 No.1374. 日本きのこ同好会